

令和5年度 教育活動アンケート（学校評価）

1. 実施について

- 1 ねらい
 - ・アンケート結果を今後の学校経営や運営に生かす。
- 2 実施方法
 - 〈保護者と教職員〉
 - ・携帯電話または、タブレット等で所定のWeb上のページ（画面）にて回答。
 - 〈児童〉
 - ・各教室で個人用タブレットにて回答。
- 3 実施日程
 - ・アンケート回答開始 令和5年11月1日（水）
 - ・締切日 令和5年11月17日（金）
 - ・結果公表予定 令和6年2月
- 4 その他
 - ・このアンケート結果は、学校運営改善のみの目的で活用する。

2. 回答率

〈保護者〉	82%
〈教職員〉	100%
〈児童〉	99%

3. 結果及び分析と考察について

- ・学校評価を受けて 学校としての対応及び見解をまとめました。
- ・アンケート結果は、項目ごとに教職員・保護者・児童の三者を並べて表示し、分析と考察を行いました。

〈連絡・問い合わせ先〉
玉穂南小学校 教頭 大原千栄子
TEL 055-274-1122

学校運営協議会委員さんからのご意見(学校関係者評価)

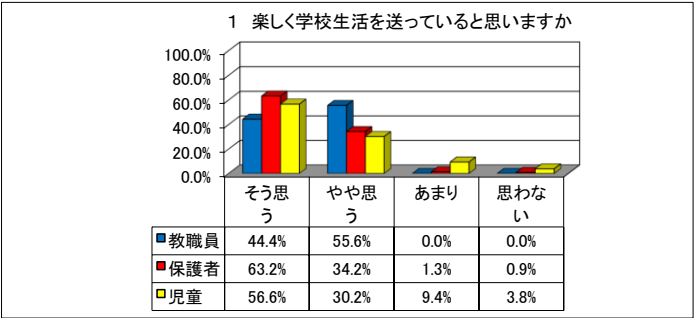
- ・質問項目の回答の中に「あまり思わない」「思わない」という回答が一定数いる。どういう原因でそのように回答したのかを把握することが大切であり、そこを確認し、原因をきちんと究明していきたい。
- ・質問2「目標を持って学校生活を送っているか」は、大人の期待が大きいのが分かる。
- ・質問8「地域の人材や環境が教育活動に生かされている」は、いい傾向であり、児童としても色々な意味で刺激があってよいと思う。
- ・質問13「児童や保護者の相談に適切に応じているか」については、相談に来る人は切実な人だと思うので、手厚く対応してほしい。顔の見える対応をお願いしたい。
- ・楽しく学校生活を送っている様子が分かる。しかし、否定的な回答が1割ほどあるのが気になる。おそらく同じ児童は学校生活に積極的になれない何かがあると思われる。必ずしもポジティブに変換する必要はないが、積極的になれない児童の気持ちを汲むことが大切だと思う。
- ・小学生は地域の子どもであり、地域で育てていきたい。
- ・質問7「児童が意欲的に授業に取り組んでいるか」では、児童の評価がとても高く、これはすごいことである。質問18「児童会活動は楽しいか」の児童の評価も高く、素晴らしい。質問16「児童のことをよく理解していると思うか」の児童の評価も高く、こういう先生を増やしていくことが重要である。

【あいさつについて】

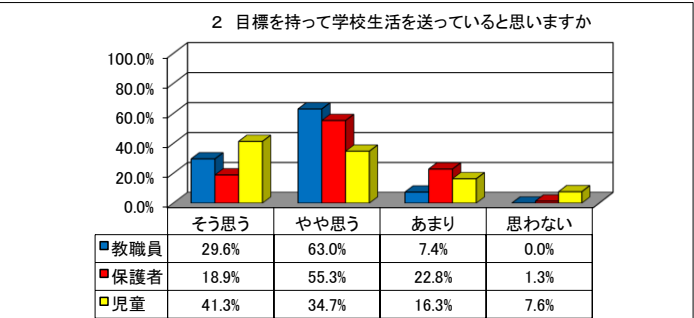
- ・あいさつはコミュニケーションのツールである。むやみやたらにあいさつをするのは過剰適応であり、あいさつをしていて目が合うのが大切である。朝の反応が重要であり、日々の変化を見ていく必要がある。人間関係の第一歩であるが、一律には指導しないほしい。
- ・あいさつをしぶしぶする児童がいる。「あいさつが気持ちがよい」、「あいさつされて気持ちがよい」など、お互いの気持ちよさや気持ちがよくなるあいさつが広がるとよい。気持ちの入るあいさつをするようにしてほしい。
- ・あいさつをしても返事がないと嫌になる。PTAで取り組んだり、PTAを巻き込んだりすると変わってくると思う。あいさつをされたら返すようにしたい。あいさつは、ただすればよいのではない。あいさつのあとに何か一言あると違うと思う。

教職員・保護者・児童三者グラフ(2学期実施)

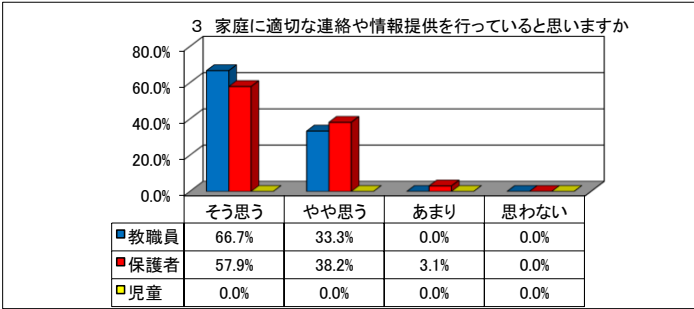
■ 教職員
■ 保護者
■ 児童



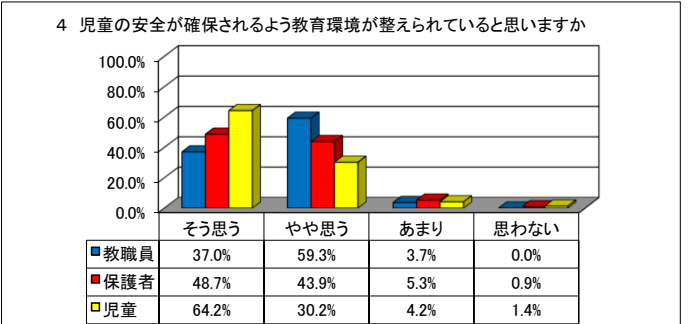
保護者、教職員共に、「そう思う」「やや思う」を合わせると97パーセント以上ととても高い評価になっている。その一方で、「あまり」や「思わない」と答えている児童が13.2パーセントいる。1割強の児童が楽しく学校生活を送っていないことをしっかり受け止め、楽しい学校づくりに向けて取り組んでいきます。



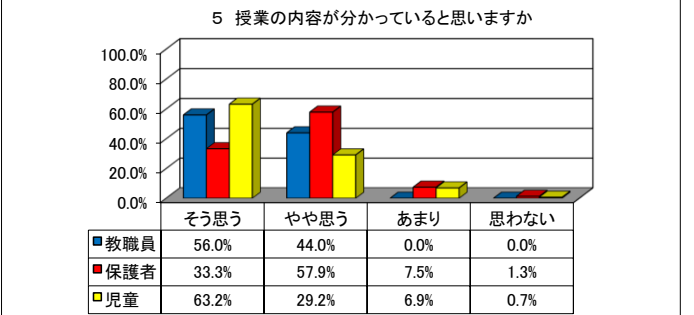
児童は、「そう思う」「やや思う」を合わせると、76パーセントの児童が目標をもって学校生活を送っていると回答しています。児童が目標をもって学校生活を送っていることがわかります。ただ、教職員の「そう思う」は30パーセント、保護者は18.9パーセント弱と低めです。大人の期待する目標に近づけられるよう指導していく必要があると考えます。



保護者の「あまり」の割合が3.1パーセントでした。学校として、「あまり」と「思わない」の割合を0にしていくための努力を今後も続けていきます。さらに、学校が積極的に家庭と連絡を取り合い、家庭が必要としている連絡や情報が何かを知るためにも、家庭との連携をさらに深めていきます。



教職員は定期的な安全点検を各担当が行い、改善箇所については学校で修繕、業者への連絡・修繕等の対応をしています。予算面などの関係で、教育環境が充分整えられていない部分が残っていますが、今後とも改善を進めていきます。

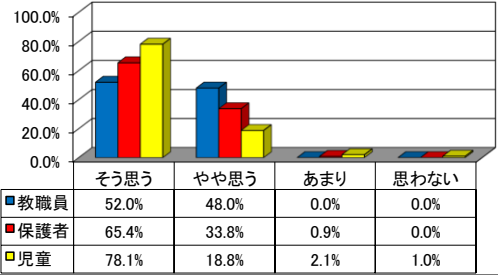


教職員・保護者の二者とも、「そう思う」「やや思う」割合は、90パーセント以上と高くなっています。しかし、「あまり」の割合が、児童に6.9パーセント、「思わない」の割合が0.7パーセントいることは大変危惧するところです。児童自身が「わかった」と実感できる授業づくりに全力を尽くします。

教職員・保護者・児童三者グラフ(2学期実施)

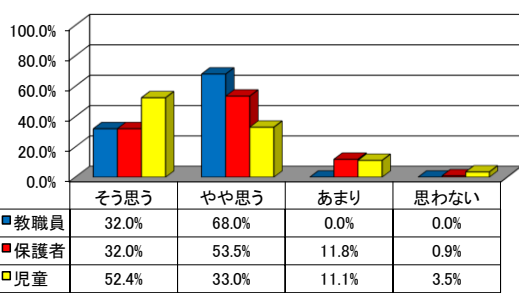
■ 教職員
■ 保護者
■ 児童

6 授業参観等の機会を設けていますか



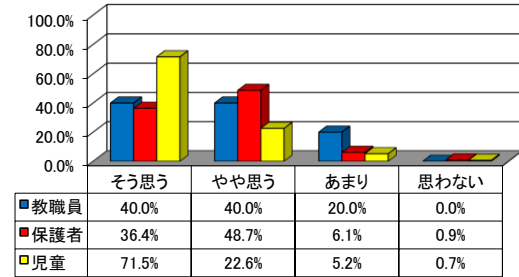
教職員、保護者、児童の質問項目が若干ちがっている設問です。保護者の「そう思う」「やや思う」を合わせた割合は99パーセントを越えています。また、児童の「そう思う」割合が約78.1パーセントと最も高いです。今後も授業参観等や学校に来て児童の様子をみてもらえる機会を作り、開かれた学校を目指していきたいと思います。

7 児童が意欲的に授業に取り組んでいると思いますか



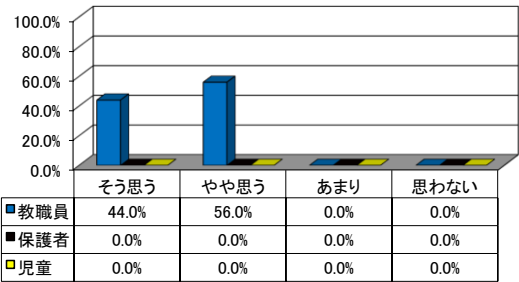
「そう思う」「やや思う」を合わせた割合が、教職員は100パーセント、保護者は85.5パーセント以上と高くなっています。児童の学習の様子が少しずつ家庭に伝わりつつあるのだと思います。しかし、児童の否定的な回答が15パーセントと高いので、今後も児童が意欲的に取り組む授業づくりを進め、児童の学習の様子を家庭へ伝える努力を進めていきます

8 地域の人材や環境が教育活動に生かしていると思いますか



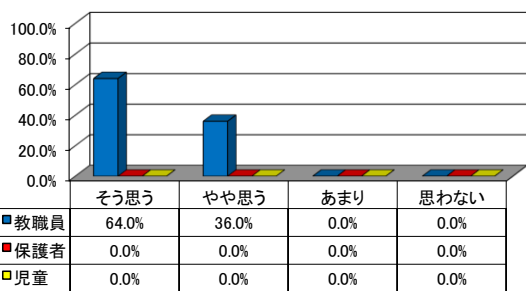
児童の「そう思う」割合が71.5パーセントと高いです。生活科、総合的な学習の時間、書写指導などでは、地域の方々を講師としてお願いしています。児童にとっては、親しみのある方々からの学びが印象深く、豊かな学びとなり、学習効果が大きかったことを表しています。今後も地域の人材や環境をさらに生かす取り組みを進めていきます。

9 授業評価の結果を授業改善に生かしていると思いますか



教職員のための回答です。本年度は、校内研究において「生き生きと学び合う子どもの育成～児童理解を活かした課題解決と資質の向上～」を研究主題として進めてきました。研究授業を通して、子どもの姿から授業を見取り、日々の授業にフィードバックする取り組みを進めているところです。

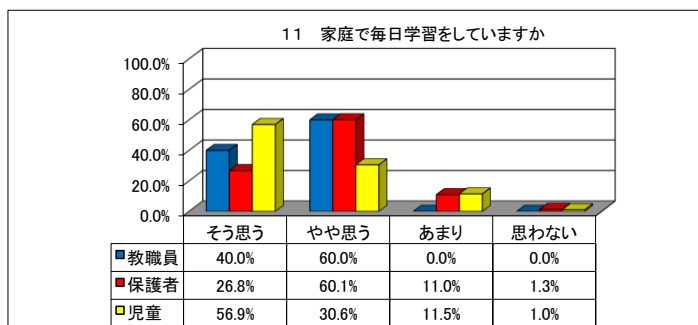
10 教科の基礎的、基本的内容を確実に定着させようとしていますか



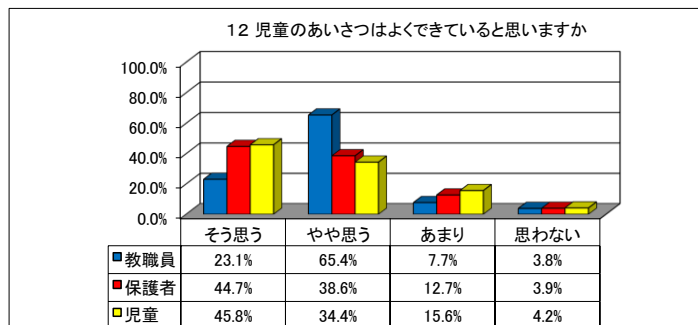
教職員のための回答です。「そう思う」「やや思う」の割合が、教職員は100パーセントになり、児童の学力の向上を実感しています。今後もすべての教職員が「そう思う」と言えるよう授業改善を進めていきます。

教職員・保護者・児童三者グラフ(2学期実施)

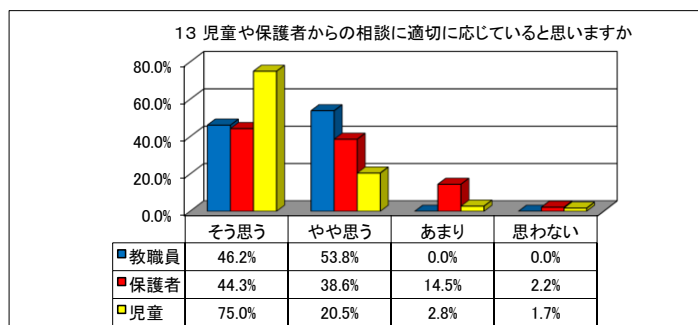
■ 教職員
■ 保護者
■ 児童



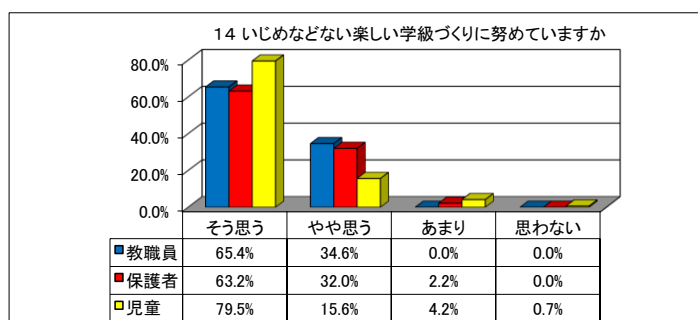
全校での家庭学習への計画的な取り組みの推進の結果、保護者や児童の「そう思う」の割合が高くなっています。ただ、保護者の否定的な回答が12パーセント強、児童が13パーセント弱あることから、今後もご家庭の協力をいただきながら家庭学習の定着を行っていきます。



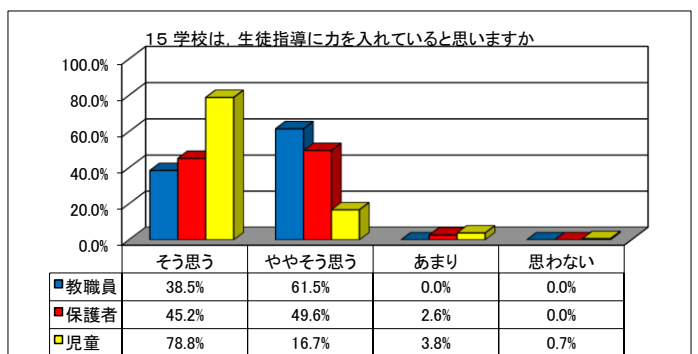
教職員・保護者・児童の三者の中で一番厳しい評価をしているのは教職員です。また、保護者も児童も活発にあいさつができていないと思っています。これを改善するために、今後も学校ではあいさつ運動に力をいれ、引き続き、学校運営協議会でも確認されたあいさつへの取り組みを地域を巻き込んで行っていきます。



教職員は「そう思う」と「やや思う」の割合を合わせると100パーセントです。保護者は82.9パーセントと若干低めな結果です。教職員は、保護者からの相談にのっていると思っはいますが、保護者は、「もっと自分の相談にしっかりのってほしい。」と感じている結果になりました。保護者、児童にとって相談しやすい環境づくりを進めていきます。



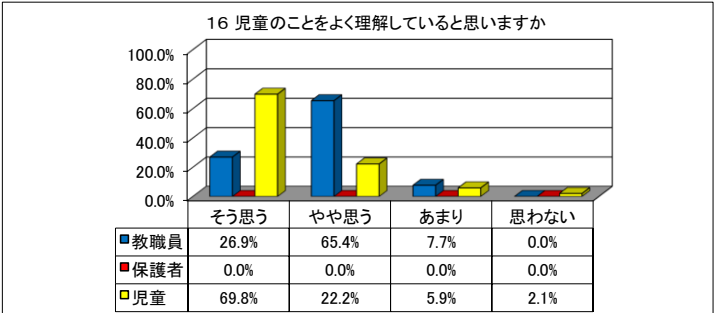
教職員・保護者・児童の三者とも「そう思う」割合が高いです。特に児童は79.5パーセントで楽しく学校生活を送っている様子が分かります。しかし、児童の「あまり」と「思わない」を合わせた割合が5パーセント弱あることをしっかりと受け止め、いじめなどない楽しい学級づくりを重点項目として今後も取り組みを続けていきます。



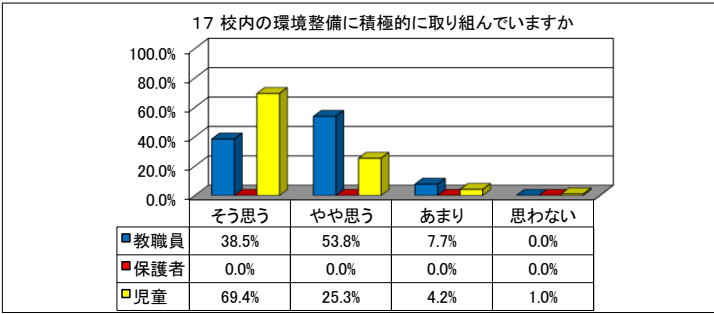
教職員・保護者・児童の三者とも「そう思う」「やや思う」の割合が高いです。本校の生徒指導に対する理解を頂いて大変うれしく思います。ただ、保護者、児童共に否定的な意見もあることをしっかりと受け止め、今後も生活指導にさらに力を入れるとともに、学校から家庭への情報伝達についても進めていきます。

教職員・保護者・児童三者グラフ(2学期実施)

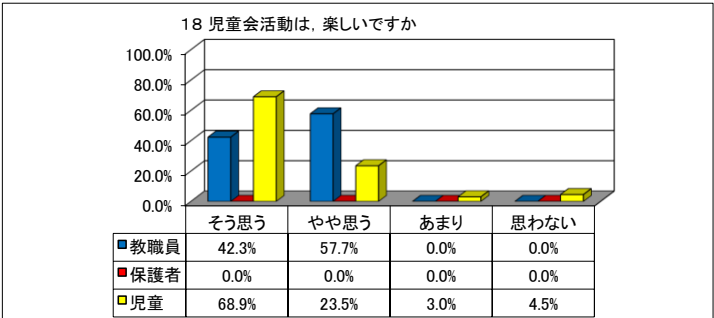
■ 教職員
■ 保護者
■ 児童



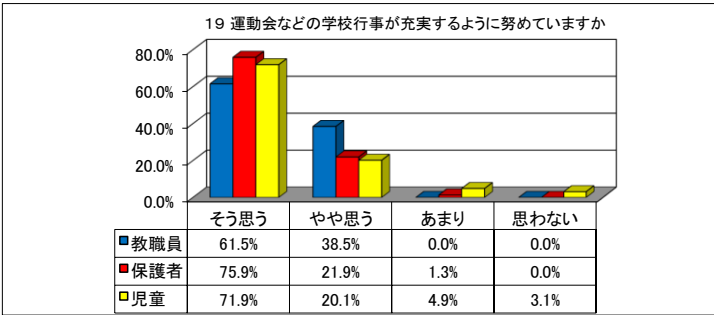
教職員・児童の二者とも「そう思う」「やや思う」の割合が高いです。しかし、「あまり」と「思わない」と感じている教職員、児童も共に8パーセントほどいます。そのことをしっかりと受け止め、児童と向き合う時間を確保しながら、児童理解を推進していきます。



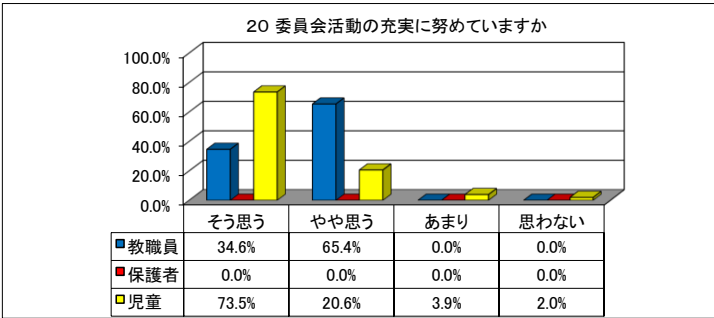
児童にとっては、清掃や整理整頓ということですが、「そう思う」児童の割合が高くなっています。「あまり」や「思わない」と答えた児童もいますが、ほとんどの児童が取り組んでいるとしています。「積極的に」という言葉から取り組んではいるが積極的でないという児童もいたと思います。今後も校内の環境整備に力を入れていきます。



児童会活動が楽しく、児童会活動に積極的に参加している児童が多いことがわかります。児童が自らの学校生活をより良いものにするような自治的な力がさらにについていくように、活動の充実に全教職員がさらに取り組んでいます。



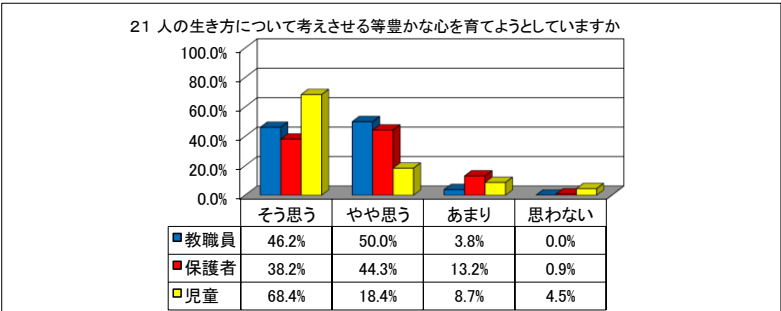
学校行事の充実に、ご家庭のご協力をたくさんいただきありがとうございます。教職員・保護者・児童の三者とも「そう思う」「やや思う」割合を合わせると90パーセント以上となっています。今後もご家庭のご協力をいただきながら、一つ一つの学校行事の充実に努めていきます。



5年生と6年生の児童が参加している委員会活動です。1年生から4年生は、この委員会活動に協力したり、委員会活動によって学校生活を助けてもらったりしています。高学年の児童が仕事を分担して全校児童がより良い学校生活を送れるよう頑張ってくれています。活動している児童自身が充実しているとさらに感じられるような活動にしていきます。

教職員・保護者・児童三者グラフ(2学期実施)

■ 教職員
■ 保護者
■ 児童



教職員・保護者・児童の三者とも、「そう思う」「やや思う」の割合が高く、「あまり」と「思わない」を合わせた割合は低いです。道徳教育や体験活動、各教科等における言語活動の充実、教育課程外の学校教育活動など、学校教育活動全体を通して、児童が夢や希望がもてるように今後も丁寧な指導を続けていきます。

令和5年度

教職員・保護者・児童三者グラフ(2学期実施)

保護者の皆様からのコメントからを受けて 学校としての対応及び見解

今年度も学校評価におきまして、貴重なご意見、肯定的なコメントをたくさんいただきました。肯定的なコメントは私たちの励みになり、明日への活力になります。今回のアンケート結果を真摯に受け止め、来年度の学校運営に役立てて行きたいと考えています。

さて、今年度は、中央市教育委員会の『今までの学校評価の捉えを変え、より学校教育の課題を明確にし、学校運営の見直しのための学校評価へ転換していく』方針を受けて、山梨大学の日永教授の指導を受けながら今年度の「学校評価」を行いました。個別にいただいたご意見は大事にしながらも、学校運営の課題となる2点に絞って見解をまとめました。また、学級担任は学校評価のおおまかな結果を踏まえて、個別懇談にあたらせていただきました。

課題1 児童のあいさつについて

複数の方から、児童の「あいさつがもう少し元気にできるとよい」「あいさつがしっかりできる子供が少ない」「旗振りの時にあいさつを返してくれる子が本当に少ない」というご意見を頂きました。また、質問項目12『児童のあいさつはよくできるか』の問いに対しても肯定的な回答が伸び悩み否定的な回答も1~2割あります。「おはようございます」をはじめ、様々なあいさつは生活の基本であると考えています。児童会活動として取り組んではきていますが、取組期間のみで成果が定着していないことを残念に思います。学校運営協議会の中でも地域に広げる活動を行う取組はしているもののなかなか浸透していかない現状もあります。今後も児童会を中心にあいさつの大切さを説きながらみんなであいさつし合える環境を整えていきたいと思います。保護者の方々のご協力もいただきながら着実に進めていきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

課題2 学校行事について

学校行事についてのご意見をいくつかいただきました。

①来年度からは運動会を春に実施【来年度は5月25日（土）】

今まで秋に開催していた運動会を来年度は春に実施していきます。（詳しくは後日通知にてお知らせします）地球温暖化の影響もあり、年々気温が上昇し夏休み明けの厳しい暑さの中の練習は危険であると判断しました。また、運動会を1学期に移動することで、2学期に行事が集中していた6年生の忙しさも解消されると考えています。

②学校開放日について

学校では学期に1度の授業参観等を実施しています。特に学校開放日は設けませんが、学年によっては、学習ボランティアのご協力をお願いしています。また、学校運営協議会の協力で授業のサポートもしていただいています。地域に開かれた学校を目指し取り組んでおりますので、いつでもお子さんの様子を見に来ていただいても構いません。よろしくお願い致します。